【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【公表番号】特表2013-536263(P2013-536263A)
【公表日】平成25年9月19日(2013.9.19)
【年通号数】公開・登録公報2013-051
【出願番号】特願2013-515794(P2013-515794)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｊ　5/06　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ 175/04　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/40　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　5/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　11/00　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　65/02　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ 175/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｊ　5/06
Ｃ０９Ｊ 175/04
Ｂ３２Ｂ　27/40
Ｃ０９Ｊ　5/00
Ｃ０９Ｊ　11/00
Ｂ６５Ｄ　65/02　Ｅ
Ｃ０９Ｊ 175/06

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月23日(2014.5.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
適当な接着促進剤の例は、有機官能性シラン、例えばヒドロキシ官能性シラン、アクリル（メタクリル）オキシ官能性シラン、メルカプト官能性シラン、アミノ官能性シランまたはエポキシ官能性シランであり、加水分解性シラン置換基をさらに含有する。メルカプト官能性シランの例は、３-メルカプトプロピルトリメトキシシランである。アクリル（メタクリル）オキシ官能性シランの例は、３-アクリルオキシプロピルトリアルコキシシランまたは３-メタクリルオキシプロピルトリアルコキシシランである。エポキシ官能性シランの例は、３-グリシジルオキシメチルトリメトキシシラン、３-グリシジルメチルトリエトキシシランまたは２-グリシドキシエチルトリメトキシシランである。アミノ官能性シランの例は、アミノプロピルメチルジメトキシシラン、Ｎ-(２-アミノエチル)-３-アミノプロピルトリメトキシシラン（ＤＡＭＯ）、Ｎ,Ｎ-ジ(２-アミノエチル)-３-アミノプロピルトリメトキシシラン、Ｎ-(２-アミノエチル)-Ｎ'-(２-アミノエチル)-３-アミノプロピルトリメトキシシラン、ビス-(トリエトキシシリルプロピル)アミン、Ｎ-(ｎ-ブチル)-３-アミノプロピルトリエトキシシランまたはそれらの混合物である。同様に、類似のエトキシまたはプロポキシ誘導体、ならびにアルキルジアルコキシ誘導体、または、個々のプロピル基の代わりに他のアルキル基で置き換えた誘導体も適当な化合物である。接着促進剤成分として、上記アミノシランの縮合物を用いることもできる。この種類の接着促進剤は文献において既知である。それらは任意に基材との反応に加わる。

【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
５０００～４０,０００ｇ／ｍｏｌの平均分子量を有する熱可塑性ポリウレタン（ＴＰＵ）を少なくとも７５重量％含有し、１４０℃で１０,０００ｍＰａｓ～１５０,０００ｍＰａｓの粘度を有するホットメルト接着剤の、フィルム基材の接着結合用の接着剤としての使用。
【請求項２】
ホットメルト接着剤は、さらに、２５重量％以下の添加剤および追加物質を含有する、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
ホットメルト接着剤は、溶媒、可塑剤、ワックスおよび樹脂を含まない、請求項１に記載の使用。
【請求項４】
熱可塑性ポリウレタンは、０.７５～０.９５：１のＮＣＯ：ＯＨ比で芳香族ポリイソシアネートおよびポリエステルジオールから製造される、請求項１～３のいずれかに記載の使用。
【請求項５】
塗布した接着剤の層厚は２０μｍ未満である、請求項１～４のいずれかに記載の使用。
【請求項６】
熱可塑性ポリウレタンは、ポリオール成分としてポリエステルポリオールを含有する、請求項１～５のいずれかに記載の使用。
【請求項７】
熱可塑性ポリウレタンは、８個以下の炭素原子を有する脂肪族ジオールおよび／またはトリオール０.５～１０重量％をさらに含有する、請求項６に記載の使用。
【請求項８】
薄層で塗布後、冷却されたホットメルト接着剤は耐ブロッキング性である、請求項６に記載の使用。
【請求項９】
両面に結合したホットメルト接着剤の層は、凝集破壊によって分離することができる、請求項８に記載の使用。
【請求項１０】
ＮＣＯ-ＯＨ比は０.８５～０.９９：１である、請求項６～９のいずれかに記載の使用。
【請求項１１】
接着剤層は熱活性可能である、請求項１～１０のいずれかに記載の使用。
【請求項１２】
請求項１～６のいずれかに記載の使用により、ＴＰＵ接着剤を用いて互いに面的に接合された、プラスチックフィルムおよび金属蒸着箔または金属箔を含有する複合フィルム。
【請求項１３】
請求項６～１１のいずれかに記載の使用により、ＴＰＵ接着剤を用いて、少なくとも１つのエッジ領域で互いに接合されたプラスチック基材およびフィルムで構成された、複合フィルム。
【請求項１４】
フィルムは、接着結合層における凝集破壊によって分離することができる、請求項１３に記載の複合フィルム。

【請求項１５】
食品用または医薬品産業における包装を製造するための、請求項１２～１４のいずれかに記載の複合フィルム。